



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 新日本理化学株式会社

コード番号 4406 URL <http://www.ni-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 石野 淳

TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,307	△13.1	42	—	40	—	51	—
28年3月期第1四半期	7,256	△5.2	△194	—	△82	—	△106	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △124百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 61百万円 (△71.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	1.39	—
28年3月期第1四半期	△2.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	31,219	13,321	40.1	335.66
28年3月期	31,361	13,457	40.3	339.23

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 12,515百万円 28年3月期 12,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	△4.3	170	—	180	—	80	—	2.15
通期	27,500	△1.4	360	4.0	390	3.6	180	85.3	4.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	38,008,906 株	28年3月期	38,008,906 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	721,251 株	28年3月期	721,122 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	37,287,737 株	28年3月期1Q	37,288,489 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境が引き続き堅調であったものの、消費者の節約志向は未だ根強く、個人消費は低迷が続きました。さらに、米国景気の後退懸念などを背景に円高が進み、製造業を中心に企業収益への負担が不安視される状況となりました。

また、世界経済においては、中国や新興国経済の落ち込みが続いていることに加え、米国でも景気減速への懸念が高まったほか、英国のEU離脱問題により、世界経済の先行き不透明感が強まりました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、既存事業の営業基盤強化、グループ全体での業務効率向上および経費削減に向けた取り組みなど、収益力向上に努めましたが、年初から続く円高基調の影響もあり苦戦を強いられました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、63億7百万円（前年同四半期比13.1%減）となり、損益面では、営業利益4千2百万円（前年同四半期は1億9千4百万円の営業損失）、経常利益4千万円（前年同四半期は8千2百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益5千1百万円（前年同四半期は1億6百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）を計上する結果となりました。

事業別セグメントの状況は次のとおりであります。

化学製品セグメント

オレオケミカル製品は、合成樹脂向け脂肪酸は低調だったものの、化粧品向けグリセリンおよび生活関連向け界面活性剤の販売が好調に推移しました。

可塑剤は、住宅関連資材および電線向けの需要が低迷したほか、原油安の影響を受け、売上高は前年を大きく下回りました。

機能性化学品は、自動車向け油剤が順調に推移したほか、新規開発品である特殊油剤や機能性エステルの販売が好調に推移しました。

樹脂原料製品は、自動車用途の需要減少が大きく、国内での販売は伸び悩みました。海外市場においては、電機関連向けなど堅調に推移した分野もあったものの、為替の影響もあり、全体としては売上高は減少しました。

樹脂添加剤は、国内の顧客プラントでの定期修理の影響により需要が低迷したほか、輸出が低調だったため、売上高は前年を下回りました。

以上の結果、化学製品セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は56億5千1百万円（前年同四半期比14.6%減）、セグメント利益は3千9百万円（前年同四半期は1億9千6百万円のセグメント損失）となりました。

その他セグメント

その他セグメントにおいては、車両用洗剤の需要が低迷したものの、クリーニング関連では、リネンサプライおよびコインランドリー向け製品の拡販が進み、売上高は前年を上回りました。また、商社部門においても、電材用途の販売が好調だったことなどにより売上を伸ばしました。

以上の結果、その他セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は6億5千6百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前期末比0.5%減、金額で1億4千1百万円減少し312億1千9百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金が増加したことなどにより前期末比0.9%増、金額で1億3千9百万円増加の165億6千8百万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券について一部売却したことや時価が下落したことなどにより前期末比1.9%減、金額で2億8千1百万円減少の146億5千1百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことなどにより前期末比6.6%増、金額で5億8千9百万円増加の95億3千5百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金が増加したことなどにより前期末比6.6%減、金額で5億9千5百万円減少の83億6千2百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が減少したことなどにより前期末比1.0%減、金額で1億3千5百万円減少の133億2千1百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は40.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,454	2,992
受取手形及び売掛金	9,088	8,732
商品及び製品	2,244	2,343
仕掛品	1,402	1,078
原材料及び貯蔵品	873	1,068
その他	368	355
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,428	16,568
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,454	3,454
その他(純額)	4,327	4,226
有形固定資産合計	7,781	7,681
無形固定資産		
	29	26
投資その他の資産		
投資有価証券	6,525	6,326
その他	604	625
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	7,121	6,943
固定資産合計	14,932	14,651
資産合計	31,361	31,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,726	3,935
短期借入金	1,556	1,851
1年内償還予定の社債	27	27
1年内返済予定の長期借入金	2,458	2,435
未払法人税等	150	47
賞与引当金	183	69
その他	841	1,167
流動負債合計	8,945	9,535
固定負債		
社債	211	206
長期借入金	5,357	4,879
役員退職慰労引当金	47	49
退職給付に係る負債	2,177	2,095
その他	1,165	1,132
固定負債合計	8,958	8,362
負債合計	17,904	17,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	2,435	2,487
自己株式	△170	△170
株主資本合計	12,172	12,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	967	869
為替換算調整勘定	△424	△520
退職給付に係る調整累計額	△66	△56
その他の包括利益累計額合計	476	292
非支配株主持分	808	805
純資産合計	13,457	13,321
負債純資産合計	31,361	31,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,256	6,307
売上原価	6,341	5,179
売上総利益	915	1,127
販売費及び一般管理費	1,110	1,085
営業利益又は営業損失(△)	△194	42
営業外収益		
受取配当金	74	63
為替差益	36	-
持分法による投資利益	22	7
その他	10	7
営業外収益合計	143	79
営業外費用		
支払利息	26	21
為替差損	-	56
その他	3	3
営業外費用合計	30	80
経常利益又は経常損失(△)	△82	40
特別利益		
投資有価証券売却益	-	14
事業譲渡益	-	45
特別利益合計	-	59
特別損失		
固定資産除却損	2	3
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△84	96
法人税、住民税及び事業税	25	31
法人税等調整額	△8	3
法人税等合計	16	35
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△101	60
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△106	51

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△101	60
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	261	△98
為替換算調整勘定	0	△6
退職給付に係る調整額	△0	9
持分法適用会社に対する持分相当額	△98	△89
その他の包括利益合計	162	△185
四半期包括利益	61	△124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55	△132
非支配株主に係る四半期包括利益	6	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	化学製品				
売上高					
外部顧客への売上高	6,615	641	7,256	—	7,256
セグメント間の内部 売上高又は振替高	416	60	477	△477	—
計	7,032	701	7,733	△477	7,256
セグメント損失(△)	△196	△0	△197	2	△194

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。
 2 セグメント損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引の消去であります。
 3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	化学製品				
売上高					
外部顧客への売上高	5,651	656	6,307	—	6,307
セグメント間の内部 売上高又は振替高	431	54	486	△486	0
計	6,083	710	6,793	△486	6,307
セグメント利益	39	2	42	0	42

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引の消去であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。